平成 24 年度版『中学生の国語』年間学習指導計画

一年

伝：伝統的な言語文化／話 聞：話す・聞く／書：書く／説 文：読む　【　】は単元ごとの総配当時数

国語科 教科目標：国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

3期制	2期制	単元 能力	学習目標		本編	時数 104	確かめよう ※【 】は指導事項	学びを広げる ※太字は差替可 別冊・資料編
1学期　41時間	前期　54時間	伝統的な言語文化【10h】（言語文化にふれる）	○さまざまな種類の作品の音読を通して、古典のきまりなどを知る。	事ア（ア）	伝 声に出して、さまざまな作品を読もう	4		京都・奈良紀行 小倉百人一首
			○古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界にふれる。	事ア（イ）	伝 竹取物語	4		言葉を旅する
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事ウ（ア）	▲漢字の字体・画数・筆順	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう①→漢字を身につけよう①②	1		常用漢字活用字典
		表現力 1【10h】（的確に表す）	○聞き手の反応に注意しながら話をする。 ○さらに知りたいことやわからないことについて質問する。	A アウ	話1 スピーチをしよう	4	1 話題を決めるには【設定・取材】 4 聞き手を意識して話すには【話す】	事物からの情報収集 評価の場面
			○集めた材料を分類・整理して、文章の構成を考える。 ○調べたことについて、根拠を明確にした文章を書く。	B イウ	書1 一枚レポートを書こう	4	8 書く材料を整理するには【構成】 10 根拠を明確にして書くには【記述】	表とグラフによる表示 引用の手法
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（ウ）	▲類義語辞典の活用	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう②→漢字を身につけよう③④	1		常用漢字活用字典
		表現力 2【11h】（わかりやすく述べる）	○筆者の説明にはどのような工夫があるか考えながら読む。	C エ	説1 水田のしくみを探る	4	17 文章の特徴について考えるには【考えの形成】	表とグラフによる表示 説明的な文章の要約
			○日常生活の中から題材を決め、材料を集める。 ○文章の構成を考え、理由を明らかにして自分の考えを書く。	B アイウ	書2 体験文を書こう	5	7 書く内容を決めるには【設定・取材】 9 段落の役割を考えて構成するには【構成】	情報の評価 記録のメモ
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（エ）	▲接続語・指示語	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう③→漢字を身につけよう⑤⑥	1		常用漢字活用字典
		理解力 1【10h】（的確に読み解く）	○場面の展開や登場人物に注意して読む。	C ウ	文1 空中ブランコ乗りのキキ	4	20 場面の展開を読み取るには【解釈】	**「注文の多い料理店」**
			○言葉の意味を捉えながら筆者の考えを読み取る。	C ア	説2 ユニバーサルな心を目指して	4	13 語句の意味を知るには【意味の理解】 14 中心となる内容を捉えるには【解釈】	**「数え方でみがく日本語」** 説明の具体化
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事ウ（アイ）	▲漢字の部首と成り立ち	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう④→漢字を身につけよう⑦⑧	1		常用漢字活用字典
2学期　39時間		理解力 2【8h】（判断して説明する）	○詩の内容を理解し、表現の特徴について自分の考えをもつ。	C エ	文2 夕焼け・いるか・雨ニモマケズ	3	19 語句の意味やイメージをつかむには【意味の理解】 23 ものの見方や考え方を広げるには【考えの形成】	詩の音読・暗唱
			○理由を明らかにして自分の気持ちを伝える。	B ウオ	書3 鑑賞文を書こう	2	9 段落の役割を考えて構成するには【構成】	情報の評価 わかりやすいメッセージ
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（ウ）	▲言葉の単位・文節の関係→文法を身につけよう	2		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑤→漢字を身につけよう⑨⑩	1		常用漢字活用字典
		伝え合う力【10h】（ともにわかり合う）	○相手の意見をふまえながら話す。 ○相手の発言を聞いて、自分の考えをまとめる。	A イオ	話2 討論ゲームをしよう	5	3 伝わるように話すには【話す】 6 話題にそって話し合うには【話し合う】	情報の評価 わかりやすいメッセージ
	後期　50時間		○自分のものの見方・考え方を広げるために読む。	C オ	説3 この小さな地球の上で	3	18 必要とする情報を集めるには【読書と情報】	事物からの情報収集 説明的な文章の要約
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（ア）	▲音声のしくみとはたらき	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑥→漢字を身につけよう⑪⑫	1		常用漢字活用字典
		思考力 1【11h】（論理的に考える）	○書いた文章を読み返し、より読みやすくわかりやすい文章にする。	B エ	書4 学校案内リーフレットをつくろう	4	11 書いた文章を見直すには【推敲】	説明の具体化 視覚にうったえる編集
			○どんなことを伝えるために、何を例に用いて説明しているかを考えながら読む。	C イ	説4 信頼をつなぐ	4	16 文章の内容をまとめるには【解釈】	**「玄関扉」** 説明の具体化
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（エ）	▲単語の類別・品詞→文法を身につけよう	2		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑦→漢字を身につけよう⑬⑭	1		常用漢字活用字典
		思考力 2【10h】（多角的に考える）	○登場人物の行動から、心情を読み取る。	C ウ	文3 タオル	4	21 人物の描写をとおして内容を読み取るには【解釈】	**「アイスキャンデー売り」**
			○日常生活の中から材料を集め、自分の考えをまとめる。 ○根拠の明確さについて意見を述べ合い、自分の表現の参考にする。	B アオ	書5 私のトップニュースを書こう	4	8 書く材料を整理するには【構成】 12 書いた文章を交流するには【交流】	記録のメモ 視覚にうったえる編集
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事ウ（アイ）	▲漢字の音と訓	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑧→漢字を身につけよう⑮⑯	1		常用漢字活用字典
3学期　24時間		想像力【12h】（さまざまな見方・考え方を知る）	○題材の用い方について感想を交流する。	B オ 事ア（ア）	伝 書6 「故事成語」を使って書こう	3	12 書いた文章を交流するには【交流】	情報の評価 引用の手法
			○主人公の描かれ方をとおして、自分のものの見方や考え方を広げる。	C オ	文4 トロッコ	5	22 心情の変化を読み取るには【考えの形成】 24 情報を読み取り、理解を深めるには【読書と情報】	**「少年の日の思い出」**
			○書いた文章を読み合い、題材の捉え方について感想を話し合う。	B オ	書7 せりふとト書き	2	12 書いた文章を交流するには【交流】	わかりやすいメッセージ 評価の場面
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（オ）	▲効果的な表現方法	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑨→漢字を身につけよう⑰⑱	1		常用漢字活用字典
		言語感覚【12h】（言葉の感覚を磨く）	○数値やグラフから読み取った情報を手がかりに文章を読み進める。	C カ	説5 食感のオノマトペ	4	15 事実と意見とを読み分けるには【解釈】	**「速い生活、だいじょうぶ？」** 表とグラフによる表示・引用の手法
			○話される情報を正確に聞く。 ○自分の考えとの共通点や相違点を整理して聞く。	A エ	聞3 正確に聞き取ろう	3	2 わかりやすく話すには【話す】 5 聞いた内容を確かめるには【聞く】	情報の評価 記録のメモ
			○自分の伝えたいことを、適切な材料を用いて明確に書く。 ○書いた文章を読み返し、わかりやすい書き方について考える。	B ウエ	書8 未来を見つめる	3	7 書く内容を決めるには【設定・取材】 11 書いた文章を見直すには【推敲】	事物からの情報収集／引用の手法／わかりやすいメッセージ
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。	事イ（イ）	▲文脈上の意味と用法	1		
			○漢字の読み書きについての理解を深める。	事ウ（イ）	▼漢字を使いこなそう⑩→漢字を身につけよう⑲⑳	1		常用漢字活用字典
取り立て		言葉のレッスン	○漢字の読み書きについての理解を深める。		▼漢字を身につけよう①〜⑳		▼一年生で学ぶ漢字字典	
			○言葉の特徴やきまり、漢字についての理解を深める。		▲文法を身につけよう			